

Outline In The First Half OF 2021 2021年上半期の総論

みなさまこんにちは。まーさです。

まずは非常に難解で困難多き2020年を無事乗り越えたみなさんに(もちろん自分も含む)、先に盛大な拍手を送りたい…!!!

とはいえ、2021年になったからといって、いきなり何もかもよくなるとか、そんな物事って簡単でもないんですけど。それはきっともうござらなうな。

とは思いつつも…、2020年の中でも「もうずっとこんな感じなんだろうか…」と思っていたことが、あるときふっと別の方向に動き出しているのを感じたり、それにまたみんなあつという間に順応していったりするの、何度も見てきていますからね。

変化って「行くぞ行くぞ行くぞ……じゃーんーん！」みたいに起こるばかりじゃないよね。

本当にいろいろな形の変化があります。

それを年々感じ、面白いなあ…油断できないなあ、でもしてもいいのかもなあ、なんて思っているまーさです。油断していても起こるときは起こるんだから、そういう無心タイムもあっていいのかな、なんてね。時に思います。

では2021年も改めてお付き合い願います!(べこり)

はい……。いろいろところで、「2020年と2021年との間には、大きなターニングポイントがあり、その星のエネルギーの方向性がここで大きく入れ替わる」というのは、ここしばらく(2020年の年末の設定です)みなさんあちこちで目にしてきているでしょう。

そう、年末12月22日近辺で起こる、グレートコンジャンクション・風星座の部(笑)がその皮きりです。

この、木星と土星が同じ星座に位置するというレアな配置、ここ200年ほどはずっとその組み合わせが土星座同士だった。それがここから風星座に変わる…というあれです。年末までは山羊座団子でしたね(山羊座木星×土星&冥王星)。これがまず水瓶座に変わります。冥王星はそのままです。

人間の日常生活や社会の仕組み、傾向などに特に大きな影響を及ぼすこの二天体がどの星座に位置するかは、私たちの社会にとって重要な要素です。かつめったに重ならないのに、そのレアケースがいつも同じようなパターン(土星座同士)で重なっていたら、「そういう感じの社会になっていく」わなあ。これ最初に気づいた天文学者さん(もしくは占星術師さん)すごいなあ。よく長い長い暦、見たよ(笑)。

という過去のパターンから言うと。

この先の私たちの世界は、土星座が象徴する物質主義中心の世界から、風星座が象徴する情報&コミュニケーション、関係性が力を得る世界へと、変化していくことになりますね。

特に2021年はこの切り替えタイミングの年でもありますから、個人的には「この差をどう理解し、どう、自分の中に新しい流れを落とし込んでいか」が、誰にとってもすごく大事なことなんじゃないかと思っています。

これね、どうい変化の場合でも少なからず似てはいるんですが、特に土から風に切り替わるっていうことは、つまり“何をする際にも、全体のスピードは上がる”。これは確実にあるんですよ。

だから、「自分の身近で具体的に何かあったら、そのとき考えればいい」というスタイルは、時にはそれでいいんだけど、いざ気が付いて何かやろうと自分が思ったときには、「先に気づいてスタートした人と、かなり差がついてしまっている」。こういうことも起こりやすいんじゃないかと。

だから、この世のどんなシチュエーションにいる人も、何座の人も、「自分は関係ない」って思うのは、確実に損です(断言)。むしろ、現実的にはまだ何も起こっていないうちから、「知っというて損はないでしょ〜」と、知的的好奇心働かせておくべきです、それが本当に「得」にもつながると思います。いや「これはむしろ俺のための変化…」くらいに、とらえておいてほしい!

ちょっとここでたとえを挟んでおきます。

昔、電車に乗るときは、全国切符か定期券で、駅員の人が入札(ばちんと)してくれていましたよね。

だから、急いでいるとしてもみんな必ずそこを通るわけだから、そこで一旦スピードは落ちたし、「電車に乗るといことはそういうこと」だと、みんなが受け入れていたでしょう。これが土星座ライフです。横並びでルールにのっかっていて、かつ特定の物質が必ず必要でした。

でも今はほぼ自動改札(ICカード)になりました。多少なら走ったままでもそのまま通過できるくらい反応は早い。そもそも切符も買わないわけだから、「切符を買う(何ならそこで並ぶ)→改札を通る」の総時間と、「ICカードを片手に一気に通過」の総時間、気づけばかなりの差になっています。ICカードも、自分でチャージせず永遠にオートチャージという手さえあります。

また最近、さらにこれに「そもそも出勤しないでリモートで働く」という新手も加わりました(笑)。

これはもっと早い(もしさっきの人たちが朝いちの会議のためにダッシュしていたのなら、リモートの人が最初に会場にログインします)。

これが風星座ライフです。

こうなると、「新人は早く会議室について、窓を開けて換気、お茶を入れておくように」とかの慣習はありません。「本来すべき仕事に集中できる」とも言えます。ただ「そういう人付き合いや縦関係社会渡りのうまさで、評価を稼いでいた」的頑張りはずかしくなくなります。今日のプレゼン、出している企画書がすべてです。実力主義に傾いたともいえるでしょう。

たとえばこんな風に、基本人が、会社に属して働くというベースは変わっていないけど、そこをどのエレメンツらしいスタイルでこなすかという部分が変わってくると、省略されるものはどんどん省略され、逆に新しいルール、形、システムは生まれてきます。おそらくこういうのが、土から風への変化です。多分…すでに身の回りにはいっぱいありますよね(意識しているいないに関わらず)。

でも同時に、それは今自分がどういう状況にいて、どこに住んでいて…でも結構違うとも思うんですよね。

時代は確実にある方向に向かってはいるけれど、それをどのくらいのスピードで感じるか、どこまで身近に浸透してくるかの度合いは、その人と生活の